



心のやすらぎ

甘えてくることに対してわき上がる自分の優しさ

頼られることの素晴らしさ

地球上には、昆虫も含め数え切れないほどの多くの種類の動物がいますが、
もしある日、人類が滅亡したとしたら

真っ先に絶滅する動物が「犬」だと言われています。

そのくらい、犬は人に頼っているのです。頼ると言うと、なんだか気弱で情けない
動物のように聞こえますが、犬の頼り方は私たちと少し違います。

犬は、自分の命をかけても頼り切ろうとするのです。

多くの犬は、日々の食べ物がなくなりはじめ、空腹になっても、家出をしようとは思いません。どんなに痩せこけても、体力が少なくなっても、
自分の飼い主さんと共にいようとするのです。これは、犬の持つ群れへの期待度や
生活習慣からくる本能かもしれませんが、犬にとっては餓死することより
群れから離れることの方が辛いことなのです。犬にとって自分の幸せの自覚レベルは、美味しい食
べ物や豊富な食べ物の有無では無く、群れ(家族)の感情が
幸福かどうかにかかっているのです。犬は自分の喜怒哀楽を群れと同化させるため
一人だけの幸せや一人だけの不幸はないのです。自分が幸せかどうかは
群れが幸せかどうかにかかっているのです。その本能こそが
食べて生きていくことよりも、群れを大切に作る強い感情となって現れているのです。

犬はいったんこの人が自分の主人と決めれば、徹底的に頼ってきます。
その頼り方は、たとえ命を落としたとしてもいいというぐらいの覚悟で
頼ってくるのです。私たち人間は、一人一人の感情も違えば、価値観も違います。
相当に強い愛で結ばれているカップルもいますが、命をかけても頼ってくる関係は
なかなか築けません。だからこそ、犬の真剣な頼り方を実感できない
飼い主さんもいるのですが、犬は犬である限り、いつでも命がけで
飼い主さんを頼りますし、頼りにしたいと願っているのです。

私たちは人間ですから、人と人の関わり方を学びますし、大事にしなければ
ならないのですが、時にはご褒美や褒賞がなくても、真剣に心を寄せてくる

『命がけの愛』

を感じてみるのはどうでしょうか。



No.3 2020年8月

NPO 法人ワンワンパーティクラブ 三浦 健太 著